



認 定 書

国 住 指 第 4 4 5 9 号
平成 30 年 4 月 2 日

一般社団法人日本壁装協会
代理理事 安田 正介 様

国土交通大臣 石井 啓一



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令第 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-4685
2. 認定をした構造方法等の名称
金属材・紙壁紙張／基材（不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

金属材・紙壁紙張／基材(不燃材料(金属板を除く))

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1) 平滑 (2) 粗面 (3) エンボス
表面化粧材の厚 さ (mm)	4.0 \pm 0.4以下
表面化粧材の質 量 (g/m ²)	605.0 \pm 60.5以下

3. 材料構成

項 目	仕 様																				
表面化粧材	<p>金属材・紙壁紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ4.0\pm0.4mm以下 ・質量605.0\pm60.5g/m²以下(有機質量190.0\pm19.0g/m²以下) ・構成： <ul style="list-style-type: none"> [1]化粧： <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ2.0\pm0.2mm ・質量425.0\pm42.5g/m²(固形量)以下(有機質量65.0\pm6.5g/m²以下) ・構成：(1)～(3)の組合せとする (1)化粧材：1)～3)のうち、いずれか一仕様、又は組合せとする <ul style="list-style-type: none"> 1)合成樹脂：①、②のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ①合成樹脂： <ul style="list-style-type: none"> ・質量30.0\pm3.0g/m²(固形量)以下(有機質量10.0\pm1.0g/m²以下) ・構成(g/m²) <table> <tr> <td>合成樹脂^{※1}、天然樹脂^{※2}</td><td>……0～10.0\pm1.0</td></tr> <tr> <td colspan="2">(但し、ポリエステル系を含む場合は8.0\pm0.8以下、 ポリエチレン系を含む場合は5.0\pm0.5以下とする)</td></tr> <tr> <td>有機質系添加剤^{※3}、有機質系顔料^{※4}</td><td>……0～5.0\pm0.5</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※5}</td><td>……0～30.0\pm3.0</td></tr> <tr> <td>無機質系添加剤^{※6}</td><td>……0～3.0\pm0.3</td></tr> </table> ②なし 2)印刷インキ：①、②のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ①印刷インキ： <ul style="list-style-type: none"> ・質量30.0\pm3.0g/m²(固形量)以下(有機質量20.0\pm2.0g/m²以下) ・構成(g/m²) <table> <tr> <td>合成樹脂^{※1}、天然樹脂^{※2}</td><td>……0～20.0\pm2.0</td></tr> <tr> <td colspan="2">(但し、ポリエステル系を含む場合は16.0\pm1.6以下、 ポリエチレン系を含む場合は10.0\pm1.0以下とする)</td></tr> <tr> <td>有機質系添加剤^{※3}、有機質系顔料^{※4}</td><td>……0～5.0\pm0.5</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※5}</td><td>……0～30.0\pm3.0</td></tr> <tr> <td>無機質系添加剤^{※6}</td><td>……0～3.0\pm0.3</td></tr> </table> ②なし 	合成樹脂 ^{※1} 、天然樹脂 ^{※2}	……0～10.0 \pm 1.0	(但し、ポリエステル系を含む場合は8.0 \pm 0.8以下、 ポリエチレン系を含む場合は5.0 \pm 0.5以下とする)		有機質系添加剤 ^{※3} 、有機質系顔料 ^{※4}	……0～5.0 \pm 0.5	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※5}	……0～30.0 \pm 3.0	無機質系添加剤 ^{※6}	……0～3.0 \pm 0.3	合成樹脂 ^{※1} 、天然樹脂 ^{※2}	……0～20.0 \pm 2.0	(但し、ポリエステル系を含む場合は16.0 \pm 1.6以下、 ポリエチレン系を含む場合は10.0 \pm 1.0以下とする)		有機質系添加剤 ^{※3} 、有機質系顔料 ^{※4}	……0～5.0 \pm 0.5	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※5}	……0～30.0 \pm 3.0	無機質系添加剤 ^{※6}	……0～3.0 \pm 0.3
合成樹脂 ^{※1} 、天然樹脂 ^{※2}	……0～10.0 \pm 1.0																				
(但し、ポリエステル系を含む場合は8.0 \pm 0.8以下、 ポリエチレン系を含む場合は5.0 \pm 0.5以下とする)																					
有機質系添加剤 ^{※3} 、有機質系顔料 ^{※4}	……0～5.0 \pm 0.5																				
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※5}	……0～30.0 \pm 3.0																				
無機質系添加剤 ^{※6}	……0～3.0 \pm 0.3																				
合成樹脂 ^{※1} 、天然樹脂 ^{※2}	……0～20.0 \pm 2.0																				
(但し、ポリエステル系を含む場合は16.0 \pm 1.6以下、 ポリエチレン系を含む場合は10.0 \pm 1.0以下とする)																					
有機質系添加剤 ^{※3} 、有機質系顔料 ^{※4}	……0～5.0 \pm 0.5																				
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※5}	……0～30.0 \pm 3.0																				
無機質系添加剤 ^{※6}	……0～3.0 \pm 0.3																				

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	3) 合成繊維 : ・ 厚さ $2.0_{\pm 0.2}$ mm 以下 ・ 質量 $140.0_{\pm 14.0}$ g/m ² 以下 (有機質量 $20.0_{\pm 2.0}$ g/m ² 以下) ・ 構成 : ①～③のうち、いずれか一仕様、又は①～③の組合せとする ①化粧紙 ^{※12} ・ 厚さ $2.0_{\pm 0.2}$ mm 以下 ・ 質量 $140.0_{\pm 14.0}$ g/m ² 以下 (有機質量 $20.0_{\pm 2.0}$ g/m ² 以下) ・ 構成 (g/m ²) : 1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする { 1) 有機質 : a)、b) のうち、いずれか一仕様とする a) 植物系繊維 ^{※10} … $20.0_{\pm 2.0}$ 以下 b) { 合成樹脂 ^{※1} … $2.6_{\pm 0.2}$ 以下 (但し、ポリエステル系を含む場合は $2.1_{\pm 0.2}$ 以下、 ポリエチレン系を含む場合は $1.3_{\pm 0.1}$ 以下とする) 有機繊維 ^{※7} … $13.0_{\pm 1.3}$ 以下 2) 無機質 無機質系充てん材 ^{※5} … $0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②化粧織物 : ・ 厚さ $2.0_{\pm 0.2}$ mm 以上 ・ 質量 $140.0_{\pm 14.0}$ g/m ² 以下 (有機質量 $20.0_{\pm 2.0}$ g/m ² 以下) ・ 構成 (g/m ²) 有機繊維 ^{※7} 織物又は有機繊維 ^{※7} ・無機繊維 ^{※11} 混紡織物 ^{※13} … $140.0_{\pm 14.0}$ 以下 ③なし (2) 金属材 ^{※8} ・ 厚さ 0.01mm 以上 ・ 質量 $2.0_{\pm 0.2}$ g/m ² ～ $195.0_{\pm 19.5}$ g/m ² (3) 樹脂層 ・ 質量 $30.0_{\pm 3.0}$ g/m ² (固形量) 以下 (有機質量 $15.0_{\pm 1.5}$ g/m ² 以下) ・ 構成 (g/m ²) { 合成樹脂 ^{※1} 、天然樹脂 ^{※2} …… $0 \sim 15.0_{\pm 1.5}$ (但し、ポリエステル系を含む場合は $12.0_{\pm 1.2}$ 以下、 ポリエチレン系を含む場合は $7.5_{\pm 0.8}$ 以下とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※5} …… $0 \sim 30.0_{\pm 3.0}$ 無機質系添加剤 ^{※6} …… $0 \sim 3.0_{\pm 0.3}$

項 目	仕 様																		
表 面 化 粧 材 (つづき)	<p>[2] 主素材：紙^{※12}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ$2.0_{\pm 0.2}$mm以下 ・ 質量$180.0_{\pm 18.0}$g/m²以下 (有機質量$125.0_{\pm 12.5}$g/m²以下) ・ 構成 (g/m²)：(1) 又は (1)～(3) を組合せた仕様とする <p>(1) 有機質：1)、2) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) 有機繊維^{※7} …$125.0_{\pm 12.5}$以下 (但し、合成樹脂繊維^{※9}とその他の有機繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂繊維^{※9}$30.0_{\pm 3.0}$以下とし、かつ有機質量$100.0_{\pm 10.0}$以下とする。)</p> <p>2) 合成樹脂^{※1} …$16.8_{\pm 1.7}$以下 (但し、ポリエステル系を含む場合は$13.4_{\pm 1.3}$以下、ポリエチレン系を含む場合は$8.4_{\pm 0.8}$以下とする) 有機繊維^{※7} …$89.0_{\pm 8.9}$以下</p> <p>(但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$90.0_{\pm 9.0}$以下とする。有機繊維^{※7}として合成樹脂繊維^{※9}とその他の有機繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂繊維^{※9}は$1.0_{\pm 0.1}$～$32.6_{\pm 3.3}$とする。)</p> <p>(2) 無機質</p> <table> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※5}</td><td>… $0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$</td></tr> <tr> <td>無機質系添加剤^{※6}</td><td>… $0 \sim 12.0_{\pm 1.2}$</td></tr> </table> <p>(3) 裏面保護材：1)、2) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) 裏面保護材：</p> <table> <tr> <td>・ 質量$30.0_{\pm 3.0}$g/m² (固形量) 以下 (有機質量$10.0_{\pm 1.0}$g/m²以下)</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 構成 (g/m²)</td><td></td></tr> <tr> <td>合成樹脂^{※1}、天然樹脂^{※2}</td><td>……$0 \sim 10.0_{\pm 1.0}$</td></tr> <tr> <td>(但し、ポリエステル系を含む場合は$8.0_{\pm 0.8}$以下、ポリエチレン系を含む場合は$5.0_{\pm 0.5}$以下とする)</td><td></td></tr> <tr> <td>有機質系添加剤^{※3}、有機質系顔料^{※4}</td><td>……$0 \sim 2.0_{\pm 0.2}$</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※5}</td><td>……$0 \sim 30.0_{\pm 3.0}$</td></tr> <tr> <td>無機質系添加剤^{※6}</td><td>……$0 \sim 3.0_{\pm 0.3}$</td></tr> </table> <p>2) なし</p>	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※5}	… $0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$	無機質系添加剤 ^{※6}	… $0 \sim 12.0_{\pm 1.2}$	・ 質量 $30.0_{\pm 3.0}$ g/m ² (固形量) 以下 (有機質量 $10.0_{\pm 1.0}$ g/m ² 以下)		・ 構成 (g/m ²)		合成樹脂 ^{※1} 、天然樹脂 ^{※2}	…… $0 \sim 10.0_{\pm 1.0}$	(但し、ポリエステル系を含む場合は $8.0_{\pm 0.8}$ 以下、ポリエチレン系を含む場合は $5.0_{\pm 0.5}$ 以下とする)		有機質系添加剤 ^{※3} 、有機質系顔料 ^{※4}	…… $0 \sim 2.0_{\pm 0.2}$	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※5}	…… $0 \sim 30.0_{\pm 3.0}$	無機質系添加剤 ^{※6}	…… $0 \sim 3.0_{\pm 0.3}$
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※5}	… $0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$																		
無機質系添加剤 ^{※6}	… $0 \sim 12.0_{\pm 1.2}$																		
・ 質量 $30.0_{\pm 3.0}$ g/m ² (固形量) 以下 (有機質量 $10.0_{\pm 1.0}$ g/m ² 以下)																			
・ 構成 (g/m ²)																			
合成樹脂 ^{※1} 、天然樹脂 ^{※2}	…… $0 \sim 10.0_{\pm 1.0}$																		
(但し、ポリエステル系を含む場合は $8.0_{\pm 0.8}$ 以下、ポリエチレン系を含む場合は $5.0_{\pm 0.5}$ 以下とする)																			
有機質系添加剤 ^{※3} 、有機質系顔料 ^{※4}	…… $0 \sim 2.0_{\pm 0.2}$																		
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※5}	…… $0 \sim 30.0_{\pm 3.0}$																		
無機質系添加剤 ^{※6}	…… $0 \sim 3.0_{\pm 0.3}$																		

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>※1:合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、ビニリデン系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、ポリエチレン系、フッ素系、ポリビニルアルコール系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2:天然樹脂は、セラック、ロジン、ワックスのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3:有機質系添加剤は、防錆剤、防かび剤、有機質系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4:有機質系顔料は、アゾ系、フタロシアニン系、縮合多環系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5:無機質系充てん材、無機質系顔料は、シリカ、酸化チタン、無機質系抗菌剤、酸化鉄、酸化亜鉛、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、金属材※8粉、鋳物粒及び鋳物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※6:無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機質系抗菌剤、無機質系機能性材料のいずれか又は組合せとする。</p> <p>※7:有機繊維は、植物系繊維※10、合成樹脂繊維※9、動物系繊維（絹・羊毛、カシミア、キャメル、アンゴラ）のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8:金属材は、すず、アルミニウム、銅、亜鉛、銀、白金、金のいずれか、又は組合せとし、形状は、はく状、糸状、粉状のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※9:合成樹脂繊維は、ナイロン、アラミド、ビニロン、ビニリデン、ポリエステル、ポリ塩化ビニル、アクリル、ポリウレタンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10:植物系繊維は、パルプ、綿、麻、レーヨン、スフ、キュアラ、やし、いぐさ、麦わら、アセート、セルロース系繊維のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※11:無機繊維は、金属繊維系、ガラス繊維系、炭素繊維のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12:紙、無機質紙、不織布 (non wovenpaper) のいずれかとする。</p> <p>※13:アゾ系、キノロン系の染料、又は有機質系顔料※4、無機質系顔料※5を含む場合がある。</p>

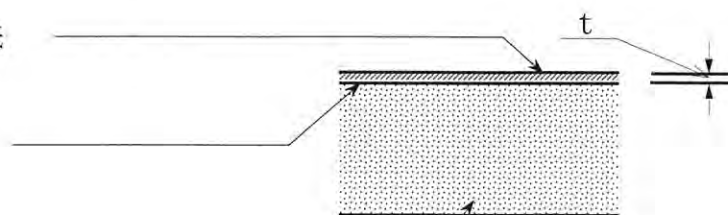
項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)・質量$60\pm6\text{g}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$60\pm6\text{g}/\text{m}^2$以下)</p> <p>・構成:[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]でん粉系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$60\pm6\text{g}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$60\pm6\text{g}/\text{m}^2$以下) ・組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> でん粉のみ80 ± 2以上 補強剤^{※14}20 ± 2以下 <p>(又は補強剤なし)</p> <p>[2]シーラー：合成樹脂^{※15}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$10\pm1\text{g}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$10\pm1\text{g}/\text{m}^2$以下) </div> </div> <p>2)・質量$40\pm4\text{g}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$40\pm4\text{g}/\text{m}^2$以下)</p> <p>・構成:[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]メチルセルロース系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$40\pm4\text{g}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$40\pm4\text{g}/\text{m}^2$以下) ・組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> メチルセルロース80 ± 2以上 補強剤^{※14}20 ± 2以下 <p>(又は補強剤なし)</p> <p>[2]シーラー：合成樹脂^{※15}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$10\pm1\text{g}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$10\pm1\text{g}/\text{m}^2$以下) </div> </div> <p>※14:補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※15:合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>不燃材料(金属板を除く)</p> <p>平成12年の建設省告示第1400号に例示されたアルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、金属板を除くもの</p>

4. 構造説明図(寸法単位: mm)

1) 表面化粧材：金属材・紙壁紙

2) 接着剤及びシーラー：

3) 基 材：不燃材料（金属板を除く）※



$t = 4.0$ 以下

※平成12年の建設省告示第1400号に例示されたアルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、金属板を除くもの